

令和（ 8 ）年度 教科（ 国語 ） 第（ 2 ）学年 シラバス

【教科の目標】

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成する。

【教科のゴールイメージ】（つきたい力，資質・能力）

言語感覚を豊かにし、思考力や想像力を養い、自らの考えを適切に伝え合おうとする。

【評価の観点と評価方法】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	総合到達度 5段階評定
評価内容	既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているか	各教科の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身につけているか	知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力を身につけたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているか	5 90%以上 4 80%以上 3 50%以上 2 20%以上 1 20%未満
評価方法	・定期テスト ・小テスト ・話す表現（スピーチ、話し合い） ・書く表現（作文、レポート） ・書写作品	・定期テスト ・ワークシート（記述） ・話す表現（スピーチ、話し合い） ・書く表現（作文、レポート） ・行動観察	・振り返りシート ・テスト振り返りカード ・提出物の工夫 ・国語ノート ・行動観察	
観点別到達度（%）	A 80%以上 B 50%以上 C 50%未満			
観点別割合（%）	35%	35%	30%	

【学習計画】

学期	月	単元，教材名	小単元，学習内容（時数） （単元の主要な教材を示しています）	時数	他教科等との関連
1	4	1 言葉を感じる	未来へ（詩）あの夕暮れへ帰る（随筆） 短歌を楽しむ（鑑賞文） 短歌の創作（書く）	4 3 3	社会
	5	2 作品を読み解く	足跡（小説）	4	
	6		意見と根拠の聞き方（話聞）	2	
	7	3 伝え方を工夫する	ネコだって推理できる（報告文）	4	
8	□地域の魅力の紹介文（書く）情報の活用 ◇書写1		6 7		
2	9	4 思いを深める	字のない葉書（随筆） 依頼状とお礼状（書く・手紙）	4 3	社会
	10	5 説得力を高める	黄金の扇風機／サハラ砂漠の茶会（評論文）	6	
	11		「地図」の意見文（書く・論証） 落葉松（文語詩）	6 1	
	12	6 伝統文化を味わう	枕草子・徒然草（古典・随筆）	6	
7	平家物語（古典・軍記） 漢詩 「正しい」言葉は信じられるか（解説文） □プレゼンテーション（話す） ◇書写2		8 5 6 8		
3	1	8 描写を味わう	走れメロス（小説）	7	社会
	2		短歌から始まる物語（書く） リンクマップによる話し合い（話し合う）	7 6	
	3		わたしが一番きれいだったとき（口語詩） 地球環境と人間社会 ◇書写3	2 4 5	
通年		言葉／漢字／文法	漢字道場 1～7 文法の窓 1・2・3 日本語探検 1・2・3 情報と論理 1・2・3	23	他学年で学ぶ漢字
総時数	140 時間				

令和（ 8 ）年度 教科（ 社会 ） 第（ 2 ）学年 年間指導計画（シラバス）

【教科の目標】

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成する

【教科のゴールイメージ】（つけたい力、資質・能力）

社会的事象に対して、自ら課題を見つけ、様々な資料や他者との交流を通して、自分の考えをまとめ、根拠を明確にして表現する力を高め、その意義や特色などを理解する力を身に付ける。

【評価の観点と評価方法】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	総合到達度 5段階評価
評価内容	既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているか	各教科の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身につけているか	知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力を身につけたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているか	
評価方法	ペーパーテスト (定期試験) レポート (学習内容の整理、記述内容) ワークシート(記述内容) 行動観察(発言・記述・返答内容)	ペーパーテスト (定期試験) レポート (事象の整理、資料の活用、記述内容) ワークシート(記述内容) 行動観察(発言・記述・行動内容)	振り返りシート レポート(記述内容) ワークシート(記述内容) 行動観察(発言・記述内容・態度)	5 90%以上 4 80%以上 3 50%以上 2 20%以上 1 20%未満
観点別到達度(%)	A 80%以上 B 50%以上 C 50%未満			
観点別割合(%)	35%	35%	30%	

【学習計画】

学期	月	単元、教材名	小単元、学習内容(時数)	時数	他教科等との関連
1	4	4章 近世の日本(歴史)	ヨーロッパ人との出会いと全国統一(6)	21	技術
	5		江戸幕府の成立と対外政策(5)		
	6		産業の発達と幕府政治の動き(9)		
	7	3編 日本のさまざまな地域(地理)	地域調査の手法(6)	20	理科・保健体育・道徳
8	日本の地域的特色と地域区分(14)		12		
2	9	3編3章 日本の諸地域(地理)	九州地方(5) 中国・四国地方(5)	37	総合的な学習の時間
	10		近畿地方(7) 中部地方(5)		
	11		関東地方(5) 東北地方(5) 北海道地方(5)		
	12	3編4章 地域の在り方	地域の在り方(6)		
3	1	5章 開国と近代日本の歩み	欧米における近代化の進展(6)		
	2		欧米の進出と日本の開国(5) <u>生命</u>		
	3		明治維新(11)		
総時数	105時間				

令和（ 8 ）年度 教科（ 数学 ） 第（ 2 ）学年 年間指導計画（シラバス）

【教科の目標】

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【教科のゴールイメージ】（つきたい力、資質・能力）

事象を数学的に捉え考察することができ、数学的な根拠を明確にししながら自らの考えを説明できる力をつける。

【評価の観点と評価方法】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	総合到達度 5段階評定
評価内容	既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているか	各教科の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身につけているか	知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力を身につけたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているか	5 90%以上 4 80%以上 3 50%以上 2 20%以上 1 20%未満
評価方法	ペーパーテスト (定期テスト)	ペーパーテスト (定期テスト)	ペーパーテスト (小テスト・単元テスト) 課題への取り組み方	
観点別到達度(%)	A 80%以上 B 50%以上 C 50%未満			
観点別割合(%)	35%	35%	30%	

【学習計画】

学期	月	単元、教材名	小単元、学習内容（時数）	時数	他教科等との関連
1	4	式の計算	○式の計算(8)	8	理科
	5	連立方程式	○式の利用(7) ○連立方程式(8)	24	理科
	6		○連立方程式の利用(9)		
	7	1次関数	○1次関数(10)	20	理科
8	○方程式と1次関数(4) ○1次関数の利用(6)				
2	9	平行と合同	○平行線と多角形(8)	18	美術
	10		○図形の合同(10)		
	11	三角形と四角形	○三角形(6) ○四角形(8)	14	
12	○平行線と面積(4)				
3	1	確率 データの比較	○確率(9)	13	国語
	2		○データの分布(8)		
	3			8	理科
総時数	105 時間				

令和（ 8 ）年度 教科（ 理科 ） 第（ 2 ）学年 年間指導計画（シラバス）

【教科の目標】

自然の事物・現象に関り、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察・実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。

【教科のゴールイメージ】（つきたい力、資質・能力）

- (1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。
- (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- (3) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

【評価の観点と評価方法】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	総合到達度 5段階評定
評価内容	既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているか	各教科の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身につけているか	知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力を身につけたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているか	
評価方法	観察・実験レポート ペーパーテスト （定期テスト、小テスト） 行動観察（観察・実験操作） パフォーマンステスト	ペーパーテスト （定期テスト） 観察実験レポート ワークシート プレゼンの内容 パフォーマンステスト	振り返りシート 観察実験レポート ワークシート 行動観察 （発言、記述、行動内容） パフォーマンステスト	5 90%以上 4 80%以上 3 50%以上 2 20%以上 1 20%未満
観点別到達度(%)	A 80%以上 B 50%以上 C 50%未満			
観点別割合(%)	35%	35%	30%	

【学習計画】

学期	月	単元、教材名	小単元、学習内容（時数）	時数	他教科等との関連
1	4	化学変化と原子・分子	物質のなり立ち（8）	34	数学
	5		物質どうしの化学変化（7）酸素がかかわる化学変化（7）		
	6		化学変化と物質の質量（7）化学変化とその利用（5）		
	7		生物のからだのつくりと		
2	8	はたらき	生物と細胞（9）	37	技術家庭 家庭分野
	9	電気の世界	植物のからだのつくりとはたらき（10）		
	10		動物のからだのつくりとはたらき（13）		
	11		刺激と反応（5）		
12	静電気と電流（7）				
3	1	天気とその変化	電流の性質（15）電流と磁界（14）	36	技術家庭 技術分野
	2		気象の観測（15）雲のでき方と前線（7）		
	3		大気の動きと日本の天気（11）		
総時数	140 時間				

令和(8)年度 教科(音楽) 第(2)学年 年間指導計画(シラバス)

【教科の目標】

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方、考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。

【教科のゴールイメージ】(つきたい力、資質・能力)

音楽活動を主体的・協働的に楽しみながら音楽に関わり、音楽の多様性について理解し、創意工夫を生かした表現の技能を身に付け、音楽に親しみ、生活を豊かなものにしようとする。

【評価の観点と評価方法】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む 態度	総合到達度 5段階評定
評価内容	既有的知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているか	音楽の知識及び技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を身につけているか	知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力を身につけたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど、学習を調整しながら、学ぼうとしているか	5 90%以上 4 80%以上 3 50%以上 2 20%以上 1 20%未満
評価方法	実技テスト(実技発表) 授業中の学習の様子 定期テスト	実技テスト(実技発表) 授業中の学習の様子 鑑賞レポート(記述内容) ワークシート 定期テスト	振り返りシート ワークシート 感想文 授業中の学習の様子 定期テスト レポート	
観点別到達度(%)	A 80%以上 B 50%以上 C 50%未満			
観点別割合(%)	35%	35%	30%	

【学習計画】

学期	月	単元,教材名	小単元,学習内容(時数)	時数	他教科等との関連
1	4	・合唱の喜び	・混声三部合唱「夢の世界を」	3	国語・道徳
	5	・オーケストラの響き	・ベートーヴェン「交響曲第5番ハ短調」	4	社会(歴史)
	6	・アンサンブルの楽しみ	・アルトリコーダー「うみ」	3	理科(音の特性)
	7	・日本の歌・心の歌	・「夏の思い出」「荒城の月」	4	国語
	8				
2	9	・合唱の喜び	・クラス合唱(混声三部)	4	国語・道徳
	10	・曲想を生かして表情豊かに歌おう	・「サンタ・ルチア」	3	社会(地理・歴史)
	12	・器楽(琴)	・「さくらさくら」	4	理科(身体と音)
3	1	□・総合芸術～オペラ～	・ヴェルディ作曲「アイダ」	3	社会(歴史)・美術
	2	□・総合芸術～歌舞伎～	・歌舞伎「勸進帳」	4	国語・道徳
	3	・合唱の喜び	・混声三部合唱「大切なもの」	3	国語・道徳
総時数	35 時間				

令和（ 8 ）年度 教科（ 美術 ） 第（ 2 ）学年 年間指導計画（シラバス）

【教科の目標】 表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、美術の基礎的能力を伸ばし、美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。

【教科のゴールイメージ】

造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わることができる。

【評価の観点と評価方法】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	総合到達度 5段階評定
評価内容	既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているか	各教科の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身につけているか	知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力を身につけたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているか	5 90%以上 4 80%以上 3 50%以上 2 20%以上 1 20%未満
評価方法	定期テスト アイディアスケッチ 作品（制作途中・完成） ワークシート 行動観察（発言・記述・行動）	定期テスト アイディアスケッチ 作品（制作途中・完成） ワークシート 行動観察（発言・記述・行動）	アイディアスケッチ 作品（制作途中・完成） ワークシート 行動観察（発言・記述・行動）	
観点別到達度（%）	A 80%以上 B 50%以上 C 50%未満			
観点別割合（%）	35%	35%	30%	

【学習計画】

学期	月	単元、教材名	小単元、学習内容（時数）	時数	他教科等との関連
1	4	レオナルドとその時代 D	ルネサンスの作品の素晴らしさを感じ取る	2	道徳 技術 社会 社会 道徳 社会
	5	わかりやすく情報を伝える	情報を分かりやすく伝える工夫	6	
	6	あれ？ どうなっているの	形や色のトリックを楽しむ	2	
	7				
2	8	空想の世界へようこそ 生命	不思議な世界に想像を膨らませる 生命	2	
	9	形と色の挑戦	心の中にあるイメージを見つめ表す	2	
	10	さまざまな椅子のデザイン	使い手のことを考えたデザイン	2	
	11	地域の魅力を伝える	地域の魅力が多くの人に伝わる工夫	5	
	12	海を越えた文化交流	それぞれのよさや美しさを感じ取る	2	
3	1	ゴッホと浮世絵 D	日本文化が西洋に与えた影響 D	2	
	2	日本の伝統色	生活の中で受け継がれた色	2	
	3	メッセージを伝える	効果的にメッセージを伝える工夫	6	
	3	地域と美術のつながり	合同美術展をからめて	2	
総時数	35 時間				

令和（ 8 ）年度 教科（保健体育） 第（ 2 ）学年 年間指導計画（シラバス）

【教科の目標】

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。

【教科のゴールイメージ】（つきたい力、資質・能力）

主体的にスポーツや自分の健康に関心を持ち、生涯にわたって、健康に関心を持ちスポーツができる人になる。

【評価の観点と評価方法】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	総合到達度 5段階評定
評価内容	既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているか	各教科の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身につけているか	知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力を身につけたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼう	5 90%以上 4 80%以上 3 50%以上 2 20%以上 1 20%未満
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・学習カード（記述内容） ・副教材（資料ノート） ・ペーパーテスト（期末テスト） ・行動観察（実技の形成的評価） ・実技テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習カード（記述内容） ・副教材（資料ノート） ・ペーパーテスト（期末テスト） ・行動観察（協働性、コミュニケーション能力、表現活動） ・実技テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習カード（記述内容） ・副教材（資料ノート） ・ペーパーテスト（期末テスト） ・行動観察（発言、欠席、道具準備） ・実技テスト 	
観点別到達度(%)	A 80%以上 B 50%以上 C 50%未満			
観点別割合(%)	35%	35%	30%	

【学習計画】

学期	月	単元、教材名	小単元、学習内容（時数）	時数	他教科等との連携
1	4	体づくり運動	体ほぐしの運動、体力を高めるための運動	14	
	5	陸上競技	リレー、走幅跳、走高跳	7	
	6	球技 ネット型	バレーボール	5	
	7	水泳	クロール、平泳ぎ	8	
2	8				
	9	球技 ネット型	バレーボール	5	
	10	球技 ベースボール型	ソフトボール	9	
	11	武道	柔道	9	
3	12				
	1	球技 ネット型	バドミントン	10	
	2	陸上競技	長距離走	10	
通年	3	ダンス	創作ダンス	9	
		体育理論	スポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方	3	
		保健	健康な生活と病気の予防② 傷害の防止	16	家庭分野、理科
総時数	時間	105 時間			

令和（ 8 ）年度 教科（技術・家庭科（技術分野））第（ 2 ）学年 年間指導計画（シラバス）

【教科の目標】

技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を育成する。

【教科のゴールイメージ】（つけたい力，資質・能力）

技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりを通してよりよい生活や持続可能な社会を構築しようとすることができる。

【評価の観点と評価方法】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	総合到達度 5段階評定
評価内容	既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているか	各教科の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身につけているか	知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力を身につけたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているか	5 90%以上
評価方法	実習・観察レポート（記述内容） 学習ノート（記述内容） ワークシート（記述内容） ペーパーテスト（定期テスト） 行動観察（実習）、作品	ペーパーテスト（定期テスト） 実習・観察レポート（記述内容） ワークシート（記述内容） 自己評価表（記述内容） 作品	振り返りシート 実習・観察レポート（記述内容） 学習ノート（記述内容） ワークシート（記述内容） 行動観察（発言、記述、行動内容）	4 80%以上 3 50%以上 2 20%以上 1 20%未満
観点別到達度（%）	A 80%以上 B 50%以上 C 50%未満			
観点別割合（%）	35%	35%	30%	

【学習計画】

学期	月	単元，教材名	小単元，学習内容（時数）	時数	他教科等との関連
1	4	【B生物育成の技術】	問題解決の流れ（2）	8	理科
	5	生物育成の技術による問題の解決	問題の発見と課題の設定（2） 生命		
	6		計画・育成・評価・改善（4）		
	7	社会の発展と生物育成の技術	これからの生物育成の技術（3） 生命		
8					
2	9	【D情報の技術】	情報表現の原理・法則・基礎的な技術の仕組み（2） D	12	数学 美術 道徳
	10	生活や社会を支える情報の技術	情報とコンピュータ（4） D		
			情報の表現と伝達（3） D		
			情報セキュリティと情報モラル（3） D		
12	双方向性のあるコンテンツによる問題の解決	問題解決の流れ（1）	6		
3	1	【Cエネルギー変換の技術】 生活や社会を支えるエネルギー変換の技術	問題の発見と課題の設定（1）	4	理科
	2		設計・制作・評価・改善（4）		
	3		電気・運動・熱の特性等の原理・法則・基礎的な技術の仕組み（4）		
	3	エネルギー変換の技術による問題の解決	問題解決の流れ（2）	2	
総時数	35時間				

令和（8）年度 教科（技術・家庭科（家庭分野））第（2）学年 年間指導計画（シラバス）

【教科の目標】

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成することを目指す。

【教科のゴールイメージ】（つきたい力，資質・能力）

自立と共生を目指し、生活の中の問題に向き合っ、課題を見つけ、解決する力を身に付けることができる。

【評価の観点と評価方法】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	総合到達度 5段階評定
評価内容	既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているか	各教科の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身につけているか	知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力を身につけたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているか	5 90%以上 4 80%以上 3 50%以上 2 20%以上 1 20%未満
評価方法	活動状況（実習） ワークシート（記述内容） 作品 実技テスト 定期テスト	レポート（記述内容） ワークシート（記述内容） 振り返りシート（記述内容） 作品 定期テスト	レポート（記述内容） ワークシート（記述内容） 自己評価カード（記述内容） 行動観察	
観点別到達度（%）	A 80%以上 B 50%以上 C 50%未満			
観点別割合（%）	35%	35%	30%	

【学習計画】

学期	月	単元，教材名	小単元，学習内容（時数）	時数	他教科等との関連
1	4	私たちの住生活	住居の機能と住まい方（2）	2	保健体育 理科
	5	住まいの役割と安全な住まい方	快適な住まい方の工夫（2）	2	
	6		生命安全な室内環境の整え方（2）	2	
	7	私たちの食生活	災害に備えた住まい（2）	2	
2	8	中学生に必要な栄養素を満たす食事	中学生の1日分の献立（3）	2	保健体育
	9		食品の選択と購入（2）	3	
	10	調理のための食品の選択と購入	生鮮食品の特徴・加工食品の特徴（3）	1	
	11		日常食の調理（6）	3	
12	私たちの消費と環境	地域の食文化（2）	6	道徳	
3	1	私たちの消費生活	消費者としての自覚（2）		2
	2		販売方法の特徴（2）		2
	3	物資・サービスの選択、購入（2）	2		社会
	責任ある消費者になるために	消費者トラブル（3）	1		
		消費者の基本的な権利と責任（1）	3		
環境に配慮した消費生活の工夫（1）		1	社会		
総時数	35 時間				道徳

令和（ 8 ）年度 教科（ 外国語 ） 第（ 2 ）学年 年間指導計画（年間指導計画）

【教科の目標】 外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝えあったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成する。

【教科のゴールイメージ】（つきたい力、資質・能力） コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる。

【評価の観点と評価方法】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	総合到達度 5段階評定
評価内容	既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているか	各教科の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身につけているか	知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力を身につけたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているか	5 90%以上
評価方法	ペーパーテスト （定期テスト、小テスト） パフォーマンステスト （記述や発話内容）	ペーパーテスト （定期テスト） パフォーマンステスト （記述や発話内容）	活動への取り組み （活動観察、振り返り記述内容） パフォーマンステスト （活動観察） 音読チェック（活動内容） 提出物（記述内容）	4 80%以上 3 50%以上 2 20%以上 1 20%未満
観点別到達度（%）	A 80%以上 B 50%以上 C 50%未満			
観点別割合（%）	35%	35%	30%	

【学習計画】

学期	月	単元、教材名	小単元、学習内容（時数）	時数	他教科等との関連
1	4	Unit 0 My Spring Vacation		2	社会 技術・家庭（技術）
		Unit 1 What can we experience on a trip?	○旅行の予定や海外で経験できることなどを伝え合う。	8	
	5	Unit 2 What is local food?	○好きな食べ物を、理由や考えと共に紹介できる。	13	
	6	Unit 3 What kind of job are you interested in?	○将来像や夢を考え、取り組みたいことを説明できる。	13	
	7	Stage Activity 1 My Favorite Japanese	○自分が好きな日本食の特徴やその理由を発表できる。	14	
	8	Let's Read 1 History of Clocks	○時計の歴史を読み取り、説明できる。	13	社会
2	9	Unit 4 What is important in a homestay?	○海外との生活習慣や文化のちがいを知り、取るべき行動を伝えられる。	13	社会
	10	Unit 5 What design is good for everyone?	○だれもが暮らしやすい社会を考え、その方法を伝えられる。	14	
	11	Unit 6 How can we make a good presentation?	○身近なトピックを調査し、データを比べて発表できる。	13	
	12	Stage Activity 2 My School and School Life	○自分の学校生活について、具体例を踏まえて説明できる。	13	
		生命 Let's Read 2 A Glass of Milk	○場面や登場人物の心情の変化を読み取り、気持ちをこめて音読できる。	14	社会
3	1	Unit 7 What are World Heritage sites and their problems?	○世界遺産について、その特徴や価値を説明できる。	10	
	2 3				
総時数	140 時間				